



「議員活動の自己評価」!

平成24年度分（24年4月～25年3月）

平成17年分の議会活動から始めた議員の自己評価は、今回で8回目となります。議員自己評価は、11人全員（100%）から提出がありました。右表のとおり5分野について具体的に取組んだ事項を3段階で自己評価したものです。

集計の結果、「取組の評価」については、項目全体の161項目中、「○ほぼ満足」は82件で51%、「△努力が必要」は65件で40%、「▲さらに努力が必要」は14件で9%となりました。

次に、「結果の評価」については、項目全体の161項目中、「○ほぼ満足」は49件で30%、「△努力が必要」は69件で43%、「▲さらに努力が必要」は43件で27%となりました。

取組の評価では「○ほぼ満足」が51%であるが、結果の評価では21%と大きく差がある。このことから、今後も各議員の取組みが今まで以上に結果として反映されるように努力する必要があります。

また、議員個人としての活動について、6名の議員から報告がありました。

□ 自己評価は次の指針により実施している

主要指針	評価の指針等
1. 態度評価	町民の立場で発言・行動をしているか。議会での態度（居眠り、私語など）、審議の態度（品位の保持、審議への協力度）
2. 監視評価	一般質問、討論、質疑（発言）などで行政執行をチェックしたか。
3. 政策提言評価	町民の意向を政策に反映させるため、行政への一般質問、討論、質疑（発言）などで政策提言をしたか。
4. 政策実現評価	一般質問、討論、質疑（発言）などで指摘した事項が改善されたか。また、政策提言した事項が実現したか。
5. 自治活動・議会改革取組み評価	議会報告をしているか。地域活動へ参加しているか。町づくりなどへの貢献度はどうか。町民ニーズの把握はどうか。

○議員別の評価集計

議員名 項目	平沼昌平		加藤雅行		佐藤孝男		滝川明子		花田 勇		木村 隆	
	取組	結果	取組	結果	取組	結果	取組	結果	取組	結果	取組	結果
○ ほぼ満足	11	10	—	—	7	1	9	9	6	4	9	8
△ 努力が必要	8	7	—	—	2	7	5	4	5	7	0	1
▲ さらに努力が必要	1	3	—	—	0	1	4	5	0	0	1	1
計	20	20	—	—	9	9	18	18	11	11	10	10

議員名 項目	藤山 大		川村明雄		熊野茂夫		平野隆雄		溝部幸基		合計	
	取組	結果	取組	結果	取組	結果	取組	結果	取組	結果	取組	結果
○ ほぼ満足	9	2	9	8	13	0	6	4	3	3	82	49
△ 努力が必要	6	11	8	6	0	13	9	4	22	9	65	69
▲ さらに努力が必要	0	2	0	3	0	0	2	9	6	19	14	43
計	15	15	17	17	13	13	17	17	31	31	161	161

[分野別の評価種類は、次のとおり省略しています。「取組」= 取組の評価 「結果」= 結果の評価]

○議員個人としての活動

	平 沼	滝 川	花 田	川 村	熊 野	溝 部
報告会等の実施	1	—	7	—	2	3
議員だよりの発行	—	—	—	—	—	—
個人ホームページの開設	—	—	—	○	—	○
そ の 他	—	無料生活相談やボランティア活動	町民は町政に関心を持っている。	子育て支援や人口増対策、国民年金の将来確保対策などに関する意見を支持政党の公明党に提言等	—	—

●議員活動の目標（公約）

選挙公報による公約とともに、適正な議会・議員の役割を果たすために、前年の自己評価による反省点や課題などを翌年の議会・議員活動の目標（公約）として、平成19年から公表しています。本年度は、10人の議員で総数140項目（昨年度：全員提出 158項目）となりました。

【個人票はP24・P25に掲載しています。】

「議員」の評価結果（個人票）

評価の分類： ○＝「ほぼ満足」 △＝「努力が必要」 ▲＝「さらに努力が必要」

評価期間：平成24年4月～平成25年3月

平沼昌平 57歳

議会運営委員会委員長、経済福祉常任委員 議員歴8年

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
行政	定住促進・雇用の場の創出に向けての提言	△	△
	効率的な行政サービス提供への提言	○	○
	町民視点での行政運営推進に対する提言	○	○
財政	健全な財政運営と事務事業の仕分けに対する提言	△	△
経済	少子高齢化に伴う人口減に歯止めをかける地場産業の創出への提言	△	▲
	農林水産物の知名度向上と販路の拡大に対する提言	○	△
	農林水産に関する基盤整備と作業効率化に向けての提言	○	○
	安心安全なインフラ整備と建設土木の推進に対する提言	○	○
	地場産品を利用した製品の開発と観光事業への取組に対する提言	○	△

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
福祉	予防医療の推進と今後の医療体制の在り方についての提言	△	△
	地域包括ケアの充実と環境整備に対する提言	△	○
教育	知識から知恵を育む教育環境と体制に対する提言	△	○
	歴史と文化に対する町民意識向上と保全体制についての提言	○	○
その他	地域ブランド創出に対する基盤環境整備の提言	○	△
	外国人研修生の受け入れ態勢の環境整備への提言	▲	▲
	指定管理者制度の導入に関する提言	△	△
	松前、知内、木古内との広域的観光基盤体制への提言	○	○
	自然エネルギー電力に対する将来性と事業推進について	△	▲
	自然災害等による防災体制・医療体制の在り方と施設整備について	○	○
	町民の声を提言できる議会議員活動	○	○

加藤雅行 64歳

経済福祉常任委員 議員歴21年

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
行政	過去の経験等に基づき、日々町民の為に働く職員が頑張れる様、努力する	-	-
財政	財政分野の職員の仕事を注視する	-	-
経済	水産業、農業、林業他産業の発展に寄与する 一年二年で出来ることではないので任期中の目標です	-	-

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
福祉	高齢な地域ゆえに伴い苦しみ等を分かちあえる活動をする	-	-
教育	教育環境の改善にとりくむ事、教育委員会と一緒に	-	-

佐藤孝男 66歳

総務教育常任委員、
渡島西部広域事務組合議会議員 議員歴18年

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
行政	活力ある福島町のため努力している	△	△
財政	健全な財政運営を行うための各事業へのチェック強化	○	▲
経済	一次産業の振興 (鳥獣被害対策の取り組み、遊休農地の活用推進)	○	△
	新規就漁、就農者への対策	△	△
福祉	予防医療の推進	○	△

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
教育	体験学習（食育に対して）	○	△
	給食センター（地産地消の取り組み）	○	△
その他	町内会活動への参画	○	○
	ボランティアの参加	○	△

滝川明子 71歳

議会運営委員会副委員長、総務教育常任委員 議員歴22年

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
行政	防災の町づくり（防災無線、戸別受信機の設置目途）	○	○
	まちづくり基本条例の活動推進	▲	▲
	男女協同参画の推進（女性幹部職員の誕生等）	○	○
財政	住宅リフォームに町助成を	△	▲
	財政健全化推進	▲	▲
経済	若者雇用の場づくりを中心に定住対策の推進 (9月一般質問)	△	△
	特養ホームの増床を（3月一般質問）	△	△
福祉	福祉灯油事業について（1月文書質問）	○	○
	高い国保料の引下げを	▲	▲
	介護保険制度の適用改善 (12月補正予算財源不足には一般会計繰入を)	△	△

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
福祉	子育て環境の充実	▲	▲
	高齢者の防災支援（12月一般質問）	△	△
教育	学校給食を中心に食育推進 (地元米一部利用、バイキング給食)	○	○
	高校の存続対策推進（公務員試験講座等）	○	○
	生涯教育・社会教育の充実 (灯りの小道、ワックスキャンドル)	○	○
	登下校時の交通安全対策について（6月一般質問）	○	○
	放射線等に関する副読本について（6月一般質問）	○	○
その他	議会基本条例に基づく活動の推進	○	○

花田 勇 72歳

経済福祉常任委員会副委員長、議会運営委員 議員歴 2年

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
行政	町民と議員との懇談会（対話集会）について	△	○
	議員として2年間が過ぎました。まだまだ勉強して頑張らなければと思っています。	△	△
財政	財政改革をどう進めるのかと言う点	△	△
	財政の活用についても私の思いとは異なる部分も有り、今後も見習っていただけるようにしたい。	△	△
経済	漁業、農業の一次産業や商工業とも町財政に頼りすぎて、自分達でやろうとする気力が見えて来ない。	○	△

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
福祉	温泉優待券の年間使用について	○	○
	デマンドバス問題は今後も議論が必要	○	△
	介護保険財政を考える上でこれも議論	○	△
教育	福島商業高校に対する町の支援は結果が出て来ている	○	○
	小学校、中学校においても学力向上のため今後も努力していくべきと考えている。	△	△
その他	町民の声を聞くと言うことは懇談会でも良く表れていると思う。	○	○

木村 隆 33歳

経済福祉常任委員長、
渡島西部広域事務組合議会議員 議員歴 6年

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
行政	空き家の管理・解体を条例化を含め考える	▲	▲
	光ケーブル敷設の検討調査	○	○
経済	25年度からはじまる予定のちょっと暮らしへの方向性の明確化	○	○
	コンプ施設更新にむけての検討調査に伴う情報収集	○	○
	伐期を向えた森林の活用を考える（視察を踏まえて）	○	△

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
福祉	25年度運行予定のコミュニティバスへの方向性を明確化	○	○
	吉岡温泉の利用促進調査	○	○
教育	複式学級の在り方を検討	○	○
その他	西部広域事務組合のチェック （震災がれきの受け入れ可否、デジタル無線、消防体制など）	○	○
	青年部活動をはじめとする所属団体での地域活動	○	○

藤山 大 38歳

経済福祉常任委員 議員歴 4年

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
行政	住民（町民）からの要望を政策提案	○	△
	安心、安全な町を目指しての防災対策	△	△
	笑顔での行政対応	○	△
	町内景気の活性化と行政サイドのスピーディーな対応	△	△
財政	財政健全化への取り組み	○	○
経済	町が誇れる特産品を全国に配信（するめ、コンブ、シイタケ、古代米、味来、ブルーベリー、ナマコほか）	○	▲
	観光活用による町内経済の活性化（千軒岳、横綱ビーチ、両記念館、温泉ほか）	○	△
	水産加工業と行政との連携し人手不足解消と定住対策	○	▲

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
福祉	予防医療の推進	△	△
	独居の方々との地域コミュニティー	△	△
教育	高校存続への努力	○	△
	部活動の強化・外部指導員の育成とコーチの指導	○	△
その他	ボランティア活動の参加	○	○
	伝統行事の存続と支援と参加 （神楽、荒馬、四ヶ散米〔しかさご〕、奴、七福神ほか）	△	△
	未来を担う子供達の支援と指導	△	△

川村明雄 67歳

総務教育常任委員会副委員長、議会運営委員、
監査委員 議員歴 5年

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
行政	定住及び少子化対策への政策提言	○	△
	防災計画の将来的対応を含めた論議、提唱	△	△
財政	過疎地域自立促進計画に基づく着実な推進	○	△
	各施設の収入維持対策の推進	△	▲
経済	ナマコの将来安定化施策の推進	△	△
	観光等施設の集客対策と経済波及施策	○	○
福祉	幼保一元化及び子育て支援問題への対策推進	○	○
	コミュニティバス計画の推進及び高齢者に住み良い町への変革	△	▲
教育	生涯学習及び人材育成推進対策	○	○
	福島高校存続対策の推進	△	△

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
その他	議会基本条例及びまちづくり基本条例に基づく活動と推進	○	△
	町内会活動及び団体活動への参画、推進	○	○
	文化活動への参画、ボランティア活動の推進	○	○
	町民生活相談等への対応	△	○
	環境問題の研究考察	△	▲
	一家一品の創設及び地産地消の推進	△	○
	一般質問や各種機会での未来の魅力あるまちづくりへの提言、論議等	○	○

熊野茂夫 63歳

総務教育常任委員長、議会運営委員 議員歴2年

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
行政	「まちづくり基本条例」の各分野における活動推進	○	△
	「総合計画条例」の制定の推進	○	△
	各公共施設の整備・改修と再編への提言	○	△
	「総合防災計画」制定の推進と諸提言	○	△
財政	財政健全化の取組み (将来を見据えた予算の編成及び決算審査)	○	△
経済	水産業 昆布養殖事業の安定化と発展のため、その他の養殖事業への提言	○	△
	農林業 実効性のある農林業計画への提言	○	△

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
福祉	高齢者が利用しやすい公共施設の改修への提言	○	△
	在宅介護支援体制の整備	○	△
教育	教育環境の再編と充実	○	△
	小・中学生の基礎学力向上への提言	○	△
	社会教育、家庭教育向上のための教育行政への提言	○	△
その他	生活環境の改善への提言	○	△

平野隆雄 64歳

副議長、総務教育常任委員、経済福祉常任委員、
広報・広聴常任委員長、 議員歴17年
渡島廃棄物処理広域連合議会議員

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
行政	町内景気の活性化・町基盤産業の推進について	△	▲
	自然環境保全・汚染防止対策の推進について	△	△
	各施設の利用促進と円滑な管理運営について	▲	▲
財政	福島川改修工事の推進について	○	△
	記念館・温泉施設等の集客の促進について	△	▲
経済	町内生産物のブランド化の推進について	▲	▲
	町有林や森林林業事業の推進について	△	▲
	町内景気の活性化・町基盤産業の推進について	△	△

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
福祉	健康な町づくりの中の医療制度・医療の助成について	○	○
	子供の医療費補助について	○	○
教育	少子化の中の教育行政の見直しと計画について	△	△
	生涯教育への専門的指導者の配置について	△	▲
	食育における地産地消について	△	▲
その他	学校における武道(相撲)の推進について	△	▲
	横綱ビーチの利用促進について	○	▲
	漁組・農協・森林組合等への支援について	○	○
	幼児教育の整備について	○	○

溝部幸基 65歳

議長、総務教育常任委員、渡島西部広域事務組合議会議長、
渡島廃棄物処理広域連合議会議員 議員歴33年

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
行政	「両基本条例」の目的達成に向けた活動推進 (総合計画条例に関する研修)	△	△
	行政情報の公開・共有の積極的推進	△	▲
	広域行政の連携推進	▲	▲
	行政サービスの効率的な運営への提言 (外部委託・時間差出勤等)	△	▲
	防災対策の提言 (災害弱者・訓練・冬季対策等：危機管理に関する研修)	△	▲
	浄化槽(下水道整備)の普及推進	▲	▲
財政	財政健全化への取組み (予算・決算審査・行政評価充実：基金の有効活用)	△	▲
	公共施設白書に関する研修	△	▲
	退職手当制度の抜本的改善	△	▲
	新しい仕事の創出(起業)に挑戦できる支援システムの創設	△	▲
経済	異業種連携による「福島ブランド」の開発	△	▲
	インターネット販売(地場産品)の推進 (町HPの積極的活用等)	△	▲
	地球温暖化対策の提言 (リサイクル事業・生ごみ堆肥化・森林整備等)	△	▲
福祉	「健康な町づくり」(全町的な取組み)で医療費の節減	△	△
	予防医療の推進	△	△
	在宅介護支援体制の整備	△	▲

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
教育	幼児教育問題(幼児教育を重視したこども園設置等)への提言	△	▲
	子どもや高齢者が積極的に参加する幅広い生涯学習の推進	▲	▲
	「子育て基本条例」制度に向けた取組み(情報収集・研修)	▲	▲
	「自分(達)ですべき事は自分(達)でする」主体性をもった自治活動の推進	▲	▲
	学校給食で食育・地産地消の推進 (「食育基本計画」制定→情報収集・研修)	△	△
その他	わかりやすく、町民が参加出来る議会の実現 (議会基本条例の周知)	△	△
	活発な討議(討論)ができる議会の実現	△	△
	政策的な提案のできる議会の実現	△	△
	町議会議員選挙への供託金制度導入	▲	▲
	インターネット映像配信システムの充実(光回線の整備)	△	▲
	幅広い情報収集、積極的な研修参加	△	△
	視察の積極的な受け入れ (日南町・西予市他・計1市13町村117名)	○	○
	研修会等への出講 (会津若松市・市町村アカデミー他・計5回)	○	○
	ホームページの充実(提案、情報発信、参加型)	△	△
	各種行事、研修への積極的な参加	○	○

議員活動の目標（公約）（個人票）

目標期間：平成25年4月～平成26年3月

平沼昌平

分野	具体的な目標項目
行政	定住促進・雇用の場の創出に向けての提言 町民視点での行政運営推進に対する提言
財政	健全な財政運営と効率的な事務事業の推進に対する提言
経済	地場産業の保守と雇用の創出に向けた提言 農林水産業に関する基盤整備と経営安定化への提言 町内のインフラ整備と建設・土木事業の推進への提言 後継者育成と定住促進に向けての提言
福祉	町民の予防医療の推進と健康福祉への提言 高齢者の生活環境整備とサポート体制への提言
教育	歴史・文化に対する町民意識向上と文化財の保護への提言 生活習慣・基礎学力向上に向けた提言
その他	水道事業の将来の方向性と対応についての提言 松前半島高規格道路整備推進に向けた提言 防災体制の施設整備と環境整備の在り方について提言

佐藤孝男

分野	具体的な目標項目
行政	防災対策の推進（冬季対策、全町あげて訓練）
財政	将来に希望が持てる財政健全化の取り組み
経済	農業・林業・水産業の振興（鳥獣被害対策の取り組み、遊休農地活用の推進、ナマコ放流事業の推進〔試験場視察〕）
福祉	吉岡温泉の今後の対策（改修か新築か） デマンドバスの再調査
教育	学校給食センター 地産地消の取り組み
その他	各種事業への参加 町内会活動の参加 プレミアム付商品券発行の継続

滝川明子

分野	具体的な目標項目
行政	防災の町づくりへ推進 男女協同参画の推進
財政	住宅リフォーム助成を
経済	若者雇用の場づくりを中心に定住対策の推進 特養ホームの増床
福祉	介護保険制度の適用改善 ゆとらぎ館の建替（掛け流し、温かい、丈夫な）
教育	学校給食を中心に食育推進 高校存続対策推進 生涯教育・社会教育の充実
その他	議会基本条例に基づく活動の推進（活発な討議、討論）

花田 勇

分野	具体的な目標項目
行政	議会と行政側との意志の疎通が取れるような活動をしていきたい。又、町民の皆さんには一人でも多く傍聴してほしい。
財政	今後は予算の必要な大きな事業が数多く有るのでムダのない財政運営をして行かなければならない。そのためにも厳しいチェックが必要と思う。
経済	ちょっと暮らし事業について受け入れる体制作り等が必要。又、町の各施設等の老朽化による建替えや耐震問題など数多く問題があります。
福祉	介護保険の財務内容の立てなおしが大事。温泉施設の改修か建替えの問題をテーマに取り組んでいきたい。
教育	最近、道徳教育が叫ばれています。学校教育や家庭教育においても道徳教育は大切と考えている。それがいじめを無くする事になると思う。
その他	一次産業で有るナマコ養殖、又、ソバ、ブルーベリー等に対する生産者の育成に力を入れたい。

木村 隆

分野	具体的な目標項目
行政	光ケーブル敷設に伴う利活用の明確化 空き家管理・解体の方策を検討 総合計画条例の明確化
経済	延期されたちょっと暮らしの必要性を含む、新幹線開通に向けた観光（交流人口）のあり方の検討 森林の利活用調査（バイオマスなど） 養殖事業の展開調査
福祉	継続利用調査となったデマンドバスの必要性の明確化 吉岡温泉の修繕か建て替えかの方向性検討
教育	社会体育事業の協力と推進
その他	青年部活動をはじめとする地域活動 渡島西部広域事務組合のチェック 問責決議後、佐藤町政への意識変化のチェック 自民党政権下における近隣町議員と連携した中央とのパイプ作り

藤山 大

分野	具体的な目標項目
行政	住民（町民）からの要望を政策提案 安心安全な町を目指しての防災対策 笑顔での行政対応
財政	町内景気の活性化と行政サイドのスピーディーな対応 財政健全化への取り組み
経済	町が誇れる特産品アピール（するめ、昆布、しいたけ、古代米、味来、ブルーベリー、ナマコほか） 観光活用による町内経済の活性化（千軒岳、横綱ピーチ、両記念館、温泉ほか）
福祉	予防医療の推進 独居の方々との地域コミュニティ
教育	高校存続への努力 部活動の強化、指導、支援
その他	ボランティア活動の参加 伝統行事の存続と支援と参加（松前神楽、荒馬、四ヶ散米、奴、七福神ほか） 未来を担う子供達の支援と指導

【川村 明雄】

分野	具体的な目標項目
行政	定住及び少子化対策への政策提言
	防災計画の議論、提唱
	原子力発電からクリーンエネルギーへの意識改革とその推進
財政	過疎地域自立促進計画に基づく着実な推進
	各施設の利用増加考察と収入維持対策への提言
経済	ナマコ等特産品の生産と施策
	「福島町ブランド」の考察展開と人材対応
福祉	空き家の利活用対策の推進
	子育て支援問題への対策
	高齢者に住みやすいまちへの変革推進
教育	若者等への国民年金関心度の高揚
	生涯学習及び人材育成推進対策
その他	福島高校存続対策の強化推進
	議会基本条例及びまちづくり基本条例に基づく活動と推進
	町内会活動及び団体活動への参画理解
	文化活動への参画、ボランティア活動の実践
	町民生活相談等への対応
	町内の美化及び環境問題の考察
	付加価値の高い一品の創設及び地産地消思考
	未来の魅力あるまちづくりへの提言、議論等
各種研修会、講習会への参加	

【熊野 茂夫】

分野	具体的な目標項目
行政	「総合計画条例」の制定の推進
	各公共施設の整備・改修への提言
	「総合防災計画」制定の推進と諸提言
財政	財政健全化の取組み (将来を見据えた予算の編成など、決算審査)
経済	水産業、農林業、商工業への提言 (農・漁組等、各公共団体への行政の諸支援策等)
福祉	高齢者が利用しやすい公共施設の改修への提言 介護保険とその健全な財政運営への諸提言
教育	教育環境の再編と充実 小・中学生の基礎学力向上への提言
その他	生活環境の改善への提言

【平野 隆雄】

分野	具体的な目標項目
行政	町内景気の活性化・町基盤産業の推進について
	自然環境保全・汚染防止対策の推進について
財政	各施設の利用促進と円滑な管理運営について
	福島川改修工事の推進について
経済	温泉施設の円滑な運営管理について
	町内生産物のブランド化の推進について
福祉	町有林や森林林業事業の推進について
	介護保険・在宅看護支援体制の整備促進
教育	少子化の中の教育行政の見直しと計画について
	社会教育生涯教育への専門的指導者の配置について
その他	食育における地産地消について
	学校における武道(相撲)の推進について

【溝部 幸基】

分野	具体的な目標項目
行政	「両基本条例」の目的達成に向けた活動推進 (総合計画条例に関する提言)
	行政情報の公開・共有の積極的推進
	広域行政の連携推進
	行政サービスの効率的な運営への提言 (外部委託・時間差出勤等)
	防災対策の提言 (災害弱者・訓練・冬季対策等：危機管理に関する研修)
	浄化槽(下水道整備)の普及推進
財政	財政健全化への取組み (予算・決算審査・行政評価充実：基金の有効活用)
	公共施設白書に関する研修・退職手当制度の抜本的改善
	新しい仕事の創出(起業)に挑戦できる支援システムの創設
経済	異業種連携による「福島ブランド」の開発
	インターネット販売(地場産品)の推進 (町HPの積極的活用等)
	地球温暖化対策の提言 (リサイクル事業・生ごみ堆肥化・森林整備等)
福祉	「健康な町づくり」(全町的な取組み)で医療費の節減
	予防医療の推進
	在宅介護支援体制の整備
その他	「両基本条例」の目的達成に向けた活動推進 (総合計画条例に関する提言)

分野	具体的な目標項目
教育	広範な分野(産業・福祉・生涯学習等)の人材育成基金創設
	子どもや高齢者が積極的に参加する幅広い生涯学習の推進
	「子育て基本条例」制定に向けた取組み(情報収集・研修)
	「自分(達)ですべき事は自分(達)でする」主体性をもった自治活動の推進
その他	食育・地産地消の推進 (「食育基本計画」制定→情報収集・研修)
	わかりやすく、町民が参加出来る議会の実現 (議会基本条例の周知)
その他	活発な討議(討論)ができる議会の実現
	政策的な提案のできる議会の実現
	町議会議員選挙への供託金制度導入
	インターネット映像配信システムの充実(光回線の整備)
	幅広い情報収集、積極的な研修参加
	視察の積極的な受け入れ
	ホームページの充実(提案、情報発信、参加型)
各種行事、研修への積極的な参加	